2 経営基盤の強化

三大学共通

（1）創立130年記念事業資金の募集

三大学は、創立130年記念事業資金募金推進委員会の募金計画に基づき、05年4月から開始した募金活動を積極的に推進する。募金計画（5年間）の4年目に入る08年度は、新入生及び3、4年次生のご父母及び校友並びに法人・団体・企業等を対象に募金の働きかけを行う。

（2）外部資金の確保

三大学は、本学教員の研究力を、ホームページを通して外部に発信し、受託研究及び奨学寄付金の受託数の増加を図る。また、文部科学省補助金等の申請を促進するために、申請項目に該当し得る取り組みの洗い出しを徹底化する。

（3）入学者の安定的確保に向けた募集活動

三大学は、入学者の安定的な確保に向け、全学の協力体制による学生募集広報活動を展開する。専修大学では学外の入学試験実施会場の拡大や試験実施日の見直しを図るなど、実施体制の改革も行う。

専修大学

事務組織の強化

全学的規模で事務組織の見直しを図り、事務組織のスリム化と機能強化を追求する。また、職員の教育機会を拡充し、能力開発の促進を図る。

石巻専修大学

事務組織の強化

07年5月1日より事務組織を見直し、1部3課体制から1部1課体制へと移行しており、再検証を進め、更なる業務の効率化、適正化を図る。

専修大学 北海道短期大学

短期大学における支出構造の見直し

08年度新入生より入学定員の変更を行うことに伴い、単年度での支出超過を是正するための議論を短期大学自らが深めていき、収入に見合った人件費支出等の改革を講ずる。

3 社会との連携

専修大学

（1）社会に対する知の発信

①講演会・公開講座等の充実
②貴重図書等の展示
③出版企画の拡充

（2）地域社会に対する貢献

①図書館等大学施設の開放
②専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会の開催
③体育会によるスポーツを通した地域・社会への貢献活動

（3）行政機関等との連携強化

①KSパートナーシップログラム
②千代田区内大学と千代田区との連携協力による基本協定による事業
③多摩区・3大学連携協議会による事業

（4）高大連携の推進

石巻専修大学

（1）社会に対する知の発信

（2）地域社会に対する貢献

（3）高大連携の推進

専修大学 北海道短期大学

（1）社会に対する知の発信

（2）地域社会に対する貢献

（3）学都仙台コンソーシアムへの事業参加

（4）高大接続研究事業の推進

4 広報活動の強化

専修大学

（1）ホームページによる情報発信の強化

ホームページにおいて双方向的な情報交換サービス（講座等の申込み受付・アンケート等）の提供を推進する。

（2）大学広報誌による情報発信の強化

三大学の総合広報誌である「ニュース専修」により、21世紀ビジョン「社会知性の開発」に基づく取り組み等を紹介し、大学が進んでいく方向をいち早く広報していく。

（3）メディア利用による大学のブランドイメージの向上

創立130年記念事業の一環として、07年度から実施した全国ネットによるテレビCM放映を、08年度も継続する。このテレビCMにより、専修大学の更なるイメージアップとブランド価値（個性と存在価値）の向上を目指す。

石巻専修大学

（1）ホームページによる情報発信の強化

（2）大学広報誌による情報発信の強化

専修大学 北海道短期大学

（1）ホームページによる情報発信の強化

（2）大学広報誌による情報発信の強化

予算の概要

※全文はホームページに掲載しています。

資金収支予算

―前年度予算額との比較―

総額は、326億903万円で前年度予算に比べ29億7531万円の減（前年度予算比8・36％減）の予算規模となっている。

収入の部

収入の部では、当年度収入合計が18億545万円の減（前年度予算比6・44％減）で262億1655万円。前年度繰越支払資金は、11億6986万円の減で63億9248万円となっている。

①学生生徒等納付金収入は、2億7814万円の増（同1・35％増）で209億2157万円。

②手数料収入は、3207万円の増（同3・35％増）で9億8857万円。

このうち、入学検定料収入は、3069万円の減（同3・34％増）で9億4976万円を計上している。

③寄付金収入は、特別寄付金収入・一般寄付金収入とも前年度予算と同額で3億8940万円。05年度から開始した創立130年記念事業資金募金活動を推進している。

④補助金収入は、1億4904万円の減（同6・92％減）で20億598万円。このうち、国庫補助金収入は、私立大学等経常費補助金、研究設備補助金、教育研究装置補助金等で減額を見込み、1億5191万円の減（同7・17％減）で19億6685万円を計上している。

⑤資産運用収入は、6億8161万円の減（同60・46％減）で4億4577万円。このうち、受取利息・配当金収入は、債券の早期償還や円高による利金の減額を見込んでいる。

⑥資産売却収入は、2億50万円の増（同66・83％増）で5億50万円。このうち、有価証券売却収入は前年度当初予算と同額の5億円を計上している。

⑦事業収入は、511万円の減（同1・07％減）で4億7061万円。このうち、補助活動事業収入は、石巻専大で新規開設の直通バス運行（仙台便・県北便）に伴う利用料等による増を見込み、受託事業収入は、受託研究費受入の減を見込んでいる。

⑧雑収入は、2億1510万円の減（同43・43％減）で2億8015万円。教職員の退職者数減に伴い、退職金財団交付金収入が減額となっている。

⑨前受金収入は、09年度入学者の入学手続時の納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、4320万円の減（同1・07％減）で39億8748万円。

支出の部

支出の部では、当年度支出合計が46億4347万円の減（前年度予算比15・91％減）で245億4838万円。次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み、16億6816万円の増で80億6064万円となっている。

⑩その他の収入は、18億9851万円の減（同79・55％減）で4億8806万円。前年度予算は生田10号館新築に伴う第2号基本金引当資産からの繰入収入を計上したこと等による。

⑪資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で6億7642万円振替控除額の減（同13・70％減）の42億6158万円。08年度退職教職員に係る退職金財団交付金収入等及び07年度前受金収入をそれぞれ計上している。

①人件費支出は、2億4752万円の減（同1・76％減）で137億8592万円。

②教育研究経費支出は、1億7466万円の減（同2・60％減）で65億3189万円。

③管理経費支出は、1億8773万円の減（同8・98％減）で19億3211万円。

④借入金等利息支出は、14億7638万円の減（同97・77％減）で3371万円。

⑤借入金等返済支出は、8000万円の減（同38・51％減）で1億2776万円。償還計画どおりの返済額を計上している。

⑥施設関係支出は、22億5539万円の減（同75・33％減）で7億3866万円。主な内容は、後記の（主な施設設備等整備事項）で記載。前年度予算は、生田10号館新築資金等を計上したことによる。

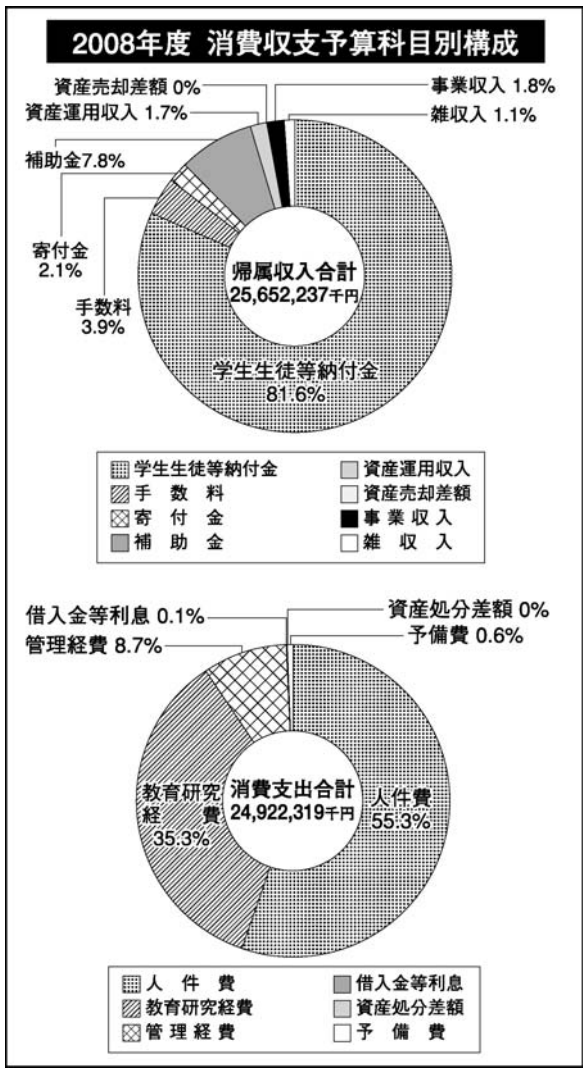
⑦設備関係支出は、4億3521万円の減（同53・35％減）で3億8055万円。このうち、教育研究用機器備品支出は、3億8329万円の減で1億969万円。サテライトキャンパス設備品、視聴覚設備品、実験・実習機器等。図書支出は、1996万円の減で2億2669万円。

⑧資産運用支出は、1億1003万円の増（同22・46％増）で6億円。有価証券購入支出は、前年度当初予算と同額の5億円を計上したもので、退職給与引当資産への繰入支出（5000万円）、法人基金準備資産への繰入支出（5000万円）とも計画による繰入額。

⑨その他の支出は、6971万円の減（同6・08％減）で10億7656万円。このうち、前期末未払金支払支出は、6824万円の減で9億515万円。

⑩予備費は、前年度予算と同額で1億5000万円。

⑪資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で1億7313万円振替控除額の減（同18・17％減）で7億7990万円。



主要財務比率

比率	算式（×100）	2006年度（決算）	2007年度（補正予算）	2008年度（予算）
人件費比率	人件費 / 帰属収入	53.26%（52.0%）	53.16%	53.74%
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	69.20%（71.3%）	67.98%	65.89%
教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	30.61%（29.3%）	34.17%	34.25%
管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	6.79%（8.5%）	8.85%	8.42%
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出 / 帰属収入	7.86%（8.0%）	△2.80%	2.85%

備考（　）内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

消費収支予算

※前記の資金収支予算と共通の科目があるので、消費収支予算特有のものについて説明。

消費収入の部

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債とならない収入）が7億4806万円の減（前年度予算比2・83％減）で256億5223万円。基本金組入額合計が5億3340万円の減（同26・81％減）で241億9577万円となっている。

①寄付金は、746万円の減（同1・36％減）で5億3950万円。その他の受贈資産（機器備品）の減を見込んでいる。

②資産売却差額は、固定資産売却差額で短大のトラック売却差額として5万円を計上している。

消費支出の部

消費支出の部では、消費支出の部合計が22億1736万円の減（前年度予算比2・62％減）で87億8566万円。

③管理経費は、1億7738万円の減（同7・59％減）で21億5968万円。

④資産処分差額は、固定資産処分差額で8000万円の減（同91・61％減）で732万円。機器備品、車両、図書等の処分差額を計上している。

消費収支差額

当年度消費収支差額は、20億271万円の減（前年度予算比73・38％減）で7億2654万円の消費支出超過額となっている。前年度繰越消費支出超過額（165億7823万円）を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、173億477万円となっている。

主な施設設備等整備事項

専修大学

①サテライトキャンパス施設（向ケ丘遊園駅北口）購入②神田・生田中央監視設備更新③神田・生田トイレ改修④神田低層棟内壁塗装⑤生田教室視聴覚設備⑥生田通学路・学内防犯灯設置⑦生田空調設備改修⑧生田北グラウンド人工芝張替え

石巻専修大学

①中央監視設備更新②キャンパス案内ポールサイン設置③歩道用外灯設置④各号館渡り廊下床補修⑤女子トイレ改修⑥実験・実習機器購入

専修大学 北海道短期大学

①電話交換機更新②駆動実習棟渡り廊下補修③セベック会館補修